

# JOYO BANK NEWS LETTER

2025年3月3日

## 生成 AI「ChatGPT」のバージョンアップ実施について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、2024年2月より利用を開始している生成 AI「ChatGPT」について、言語モデルおよび各種機能をバージョンアップしました。生成 AI「ChatGPT」を活用した業務効率化の取り組み状況について、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、今後も最新の技術を積極的に活用することで経営効率を高め、安定した経営基盤の確立を図るとともに、行内活用で得た知見を地域に還元し、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

### 記

#### 1. バージョンアップ概要

当行では全行員が利用可能な ChatGPT の閉域環境（AzureOpenAI）を構築しており、稟議書や企画書のアウトライン作成のほか、英文翻訳、文書添削等の用途を中心に、1日の平均利用件数は1,500件を超えています。

今般、ChatGPT をバージョンアップすることで、行員がより使いやすい環境を整備し、更なる業務効率化に繋げていきます。

取り組み項目（実施日）	内容
言語モデルのバージョンアップ ↳「GPT-3.5 Turbo」から「GPT-4o」への変更 (2024年10月22日)	<ul style="list-style-type: none"><li>・取り扱い可能文字数の増加</li><li>・学習データの対象期間拡大</li><li>・回答内容の精度向上と迅速化</li></ul>
ファイルアップロード機能の追加 (2025年3月3日)	<ul style="list-style-type: none"><li>・対応ファイル形式（Excel・Word・PDF等）</li><li>・機能（データ分析、ドキュメントの要約、アップロードファイルの内容を検索対象とした回答内容の生成）</li></ul>
プロンプト（ChatGPT への指示文書）の拡充と テンプレート編集機能の追加 (2025年3月3日)	<ul style="list-style-type: none"><li>・デフォルトプロンプトの追加 (現行12種類→20種類に拡大)</li><li>・自作プロンプトの追加と再利用</li></ul>

#### 2. 今後の生成 AI の活用について

研修等を通じて行員のスキルを向上させることで、今後さらに ChatGPT の活用を進めます。また、新たに RAG（検索拡張生成）機能等のシステムを導入することで行員の営業活動支援および行内情報検索の効率化を実現します。ChatGPT 以外にも、専門性が求められる業務に特化した AI を導入することで、更なる業務効率化や営業活動への活用に加え、企画立案レベルの向上に向けた AI 利活用を検討しています。

以上



常陽銀行



めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp